



学校通信

夕陽丘

第51号



【校長挨拶】 「オール夕陽」で BIG WAVE !!

校長 恩知 理加

本年は1906年の開校から数え112周年を迎えます。明治39年に大阪府立島之内高等女学校として創立されて以来、「豊かな情操と気品のある人材の育成」を校訓とし、その時代時代の社会的ニーズに応えながら、一世紀もの年月を超えて発展し続けてきました。



今年は4本柱と次の目標を掲げ、スタートしています。

- 全ての教育活動にグローバル人材の育成、自主・自律の観点を取り入れる。
- 3SK【SEIRI、SEITON、SEISOU、KIKIKANRI】で学力向上と働き方改革を推進する。

先日の73期勉強合宿では「夕陽学」第1回講義を同窓会会長浜田高明様からいただき、初代校長伊賀駒吉郎先生が大切にされた建学の精神「明朗・温雅」、本校の4本柱の1つ「自主・自律」に触れ、夕陽丘生としての自覚をもったことでしょう。71期から始めた「夕陽学」も3年目となり、夏には集大成として研究発表「World Forum in Yuhigaoka」を行います。1年「夕陽を知る、地域を知る」：夕陽丘歴史学、地域フィールドワーク、2年「歯ブラシから世界が見える」：オーラルケア商品の開発、台湾フィールドワーク、3年「Yuhikipediaを作る」：キャリア形成につながる探究学です。保護者の皆様もぜひご来場ください。

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 一人ひとりの進路を実現できる学力を身に付ける学校 |
| 2. 自ら考え、行動できるように自主自律の心を養う学校 |
| 3. 国際的視野をもち、社会の変化に対応できるグローバル人材を育成する学校 |
| 4. 国内最高レベルの音楽教育を推進する学校 |

4月のできごとから2つ紹介します。正門を出たところで女性2人の会話、コンビニでの様子から「ここの学校の生徒さん、本当に礼儀正しく感じがいい。勉強もよくできるらしい」と。学校所在地から離れた喫茶店で男性2人の会話、A「…親戚が夕陽に行ってるねん」B「ようできるねんなあ。あそこは運動も勉強もできるねえ」と。思わず会話に参入して「ありがとうございます。うちの生徒です」と言いたいのを我慢して、「さすが夕陽生、皆さんから愛されている」本当に嬉しかったです。

今年は、これまでの「生徒を本気にするプログラム」から「生徒の価値観を変えるプログラム」となるよう、教職員一同取り組んで参ります。グローバル人材育成をめざす同世代との国際交流体験、その支えとなる国語力・英語力向上、73期からタブレットを活用して自学自習・クラブの戦績や資格、講演の感想などの「学びの履歴」を蓄積し、振り返りをするとともに、新テスト対策へポジティブに取り組みます。新たに、3SKの観点から自分の身体と心と対話しながら教育活動を行えるよう、生徒教職員ともに健康講座を実施予定です。10月には年々内容を充実させてきた音楽科の定期演奏会を少しでも多くのお客様にご覧いただくため、場所をNHK大阪ホールから日本有数の音楽ホール、ザ・シンフォニーホールに移して実施できることとなりました。

最後に、今年は3月末の食堂閉店、6月～10月の北館トイレの洋式化、10月～来年3月のヴィオーラホールの耐震工事と皆様にご不自由をおかけしますこと、この場を借りてご了解願います。食堂は業者選定、ホールは110周年記念事業と合わせて、音響やプロジェクター等、最新のホールにリニューアル予定です。4月に素敵な音楽や行事でホール開きをできる日を楽しみにしています。

5期生でデザイナーの木村一男さんがデザインしてくださった夕陽のロゴマーク「夕」の文字のウェーブは、これからの夕陽丘の輝かしい未来への発展を象徴しています。音楽科25周年、夕陽丘高校120周年に向け、さらに大きなうねりにしていきたいと考えます。「オール夕陽」で取り組んでいきましょう。



【第三学年】

尊いのは夢を叶えるために努力すること

主任 森川 栄一

この前、入学したと思っていた 71 期生も 3 年生になり、クラブ活動を含めたあらゆる行事が、高校生活最後、あるいは学生最後となっていきます。体育祭等の行事やクラブ活動で感動を味わえるのは今しかありません。悔いの残らぬよう完全燃焼して欲しいと思います。グラウンドや体育館で躍動していた 71 期生の姿が見られなくなっていくのは寂しさを感じますが、いよいよ本格的に受験勉強スタートの時期です。クラブ活動に費やしていた時間と情熱を、今度は受験という大きな目標に向けて勉強に注いで下さい。

「頑張れば夢は叶う!」、我々教師はこの台詞を口に出すことが度々あります。正確に言うと「頑張れば夢が叶う可能性がある」です。毎年精一杯頑張っても第 1 志望校に合格できない生徒が少なからずいます。ではその生徒は志望校を下げ、合格圏内の学校へ進学した方が良かったのでしょうか。答えは「否」です。

先日、66 期生のある生徒から連絡が届きました。その生徒は音楽科出身で、2 年生まで、英語は大の苦手でした。志望校のセンター入試科目に英語が含まれていることを知り、3 年生のある時期から毎日放課後遅くまで教室に残り、センターに向けて英語を基礎から勉強し直しました。公立大学を志望していたため、後期入試が 3 月初旬にあり、卒業式後も学校に登校して勉強を続けていました。結果は、残念ながら不合格。この生徒のように、努力しても夢が叶わない事があります。しかし、大切な事は「夢を叶えるために必死で努力すること」ではないでしょうか。人間は「失敗したことではなく、成功にむけて努力しなかったこと」を悔いるのです。結果はどうであれ、夢に向けて精一杯取り組むことで、努力する習慣が身につき、頑張った経験を次のステップで生かすことができれば、その後花が開くことは往々にしてあります。

その生徒はこの 3 月に大学を卒業して就職しましたが、劇団四季に入団するため、昼は仕事、夜と休日は声楽のレッスンを受けているそうです。「もう少し自分の夢を追いかけてみる。時間はなくとも忙しいが、毎日充実している。」そして「大学受験で苦しみ、努力したことが、夢を追いかけるための支えになっている」と締めくくっていました。

この最後の 1 年間で、71 期全員で切磋琢磨しながら、受験という荒波を乗り越えていきましょう。教員一同、全力でサポートします。君たちが「夢を叶える」べく努力を重ね、笑顔で卒業式を迎えられることを心から祈っています。

【第二学年】

春や昔の春ならぬ ～「風景」が違って見えるとき～

主任 山村 文人

月やあらぬ春や昔の春ならぬわが身ひとつはもとの身にして

『伊勢物語』（第四段）において（今、授業でやっているところですね）、業平によって詠まれたこの歌は、二条の後（高子）への恋を失った悲しみの歌として、あまりにも有名ですが、解釈の面においては、係り結び（や～ぬ）を「疑問」とするのか「反語」とするのか、二説あることが、どの参考書、辞書にも紹介されています。失恋の心理としては、『どちらも納得のいく解釈なのですが、もし疑問と解釈するならば、「月は以前の月ではないのか、春は昔の春ではないのか」という意味になり、全てが変わってしまったように見える中で、自分だけが何一つ変わらず、世界から取り残されてしまったという孤独感が際立ちます。「昔」というのは、二人が忍び逢っていた今年の春のことです。（反語と解釈すると、月や春は去年と変わらないのに、二人の関係は変わってしまって全てが違って見える、というような意味になります。）

一方、得恋（という言葉があるそうです）においても、世界は変わって見えることでしょう。詩人の黒田三郎さんに「僕はまるでちがって」という詩があります。表面的には「昨日と同じネクタイをして」「昨日と同じ服を着て」「同じように不器用にこの世に生きている」僕が、まるでちがってしまったのは、自分の心の中に「明日の方へとぶ／白い美しい蝶がいる」からです。黒田さんは、この詩を含む詩集『ひとりの女に』で1955年に、詩壇の芥川賞とも言われるH氏賞を受賞しています。黒田さんは私が高校2年の時に亡くなりましたが、自分が文学の勉強をしたいと思うきっかけになった詩人の一人で、今の若い人たちにも是非読んでもらいたい詩作品がたくさんあります。

恋に限らず、生きていく中で、なにかを契機にして世界がまるで変わって見えるという体験をすることがあります。偶然出会った一曲の歌、一枚の絵、一冊の本、一本の映画、新しい友人との出会い、日常生活の中のちょっとした出来事、そんなことが、その後の生き方まで変えてしまうということがあるはずです。楽しいことだけではないにせよ、そんな風に世界観を更新できるのは、若さの特権であり、指標ではないかと私は思っています。新しい知見やその時々の喜怒哀楽に真摯に向き合いながら、かけがえのない夕陽丘での日々を過ごして欲しいと思います。来年の今頃、皆さんは2018年という「昔の春」をどんな風に思い出すことでしょうか。感性のアンテナをしっかりと張りめぐらし、新しい春をキャッチして欲しいと思います。

【第一学年】

73期 「BIG WAVE」

主任 若林 満輝

73期生 320名は、夕陽丘高校の一員となり一ヶ月が過ぎようとしています。「BIG WAVE」の学年キャッチフレーズの元、毎日全力で学校生活を過ごしていると思います。

学年キャッチフレーズ は73期 → ナミ（波）をキーワードとし、[BIG WAVE] としました。

[BIG WAVE] の意味とは？

○長い歴史の中に、先輩が創ってこられた数々の夕陽丘の大きな「波」が多くありますが、生徒がいろいろなこと積極的にチャレンジし、今までに無いサイズや力強さも負けないくらい大きな「波」（うねり）を作り出すことです。

○グローバルな社会の中で、刻々と変わる社会環境、特に73期生は高校3年生に受験システムに大きな変化の「波」（BIG WAVE）がやってきます。

73期生全員がこの大きな波に一人も乗り遅れることなくしっかりと波を捕まえ、進路実現ができるようにみんなで頑張っていこうという意味です。

大きな波をキャッチするには、毎日の生活を充実した物にし、タイミングを逃さないようにしましょう。

☆宿泊研修 in 大津（4/26,27）行ってきました!!☆

初めての学年行事が無事に終了しました。全員参加でき、本当に嬉しく思っています。清香会会長である浜田高明様のご講演、ベネッセ今井様によるスタサポ振り返りとClassi導入開始、クラスワークに学年レク、BBQと盛り沢山の2日間でした。一人ひとり意味のある宿泊研修になったことでしょう。生徒主体での活動も多く、生き生きとした皆さんの姿を見て、73期生の成長が益々楽しみになりました。これから、体育祭などの行事や日々の授業の中で皆さんの力を十分に発揮してほしいと思います。



【教務部】

本当の実力は主体的な学びから

主任 太城 充子

新学期が始まって、早くも1か月経ちました。ようやく新しいクラスや授業に慣れてきたかと思えば、もう最初の定期考査が始まります。準備は万全ですか。定期考査は普段の学習を見直し、定着させる重要な機会です。テストで少しでも点数を上げようと頑張ることは大切です。しかし、定期考査で高得点を取ることが学習の目標ではありません。「これは試験に出ますか。」と聞いてくる人がいます。なるほど、定期考査だけを考えれば、試験に出そうなところだけを選んで、やり方や解答を丸暗記すれば、それなりに満足のいく結果が望めるかもしれません。しかし、それで本当の実力が身につくのでしょうか。

今回告示された高等学校新学習指導要領には「主体的・対話的で深い学び」がキーワードです。「話し合い」のような活動をイメージするかもしれませんが、これは何もグループワークだけの学びの姿勢ではありません。常に自分で Why や How 等、思考力を働かせながら学ぶ過程が大切なのです。考査前の「詰め込み」学習ではなく、普段の授業に「主体的に考える」姿勢で臨んでください。そして、自分で学び、考えたことをしっかり発信していく表現力を身につけましょう。本当の実力はそうした日々の主体的な学習の積み重ねで着実に養成されていきます。また、一見、学習に無関係に見える活動も実は深いところで「学び」と結びついているものです。学校の教育活動は単に授業だけでなく、さまざまな行事・諸活動を通して、「生きる力」を身に付けていくように計画されています。

夕陽生のみなさんが積極的に色々なことに挑戦して、人として「本当の実力」を高められることを期待しています。

【生徒指導部】

心も体も強く・たくましく！

主任 吉田 真誉

平成30年度年間目標

新学期が始まりました。生徒指導部が掲げる目標は充実した学校生活を送る上で、基礎となるものです。全員で協力しながらより良い学校生活を送りましょう。

● 遅刻者数の減少を目指す

年間遅刻件数700件を切ることを目標とします。昨年に引き続き、早朝登校や報告カードなどを実施し、ていねいに指導します。特に、3年生は受験などで悩むこともあるかもしれません。きちんとした生活習慣が、進路実現を可能にします。日々の学校生活を大切にしてください。

● 夕陽生として誇りと自覚を持つ

挨拶の励行、色々な場面での夕陽生としての凛々しい態度を心がける、思いやりのある行動をする、標準着用時は正しい着用を心がける等、社会でも常識として求められることを、自ら考え行動しましょう。

● 校則の遵守

頭髮に手を加えない、身だしなみを整える等のルールを守りましょう。携帯電話に関しては、不注意をなくし正しいマナーを身につけましょう。一部の心ない生徒のために、ルールが厳しくなることもあります。社会に出ても何の制限もないところなどありません。ルール・マナーを守り、みんなが安心・安全に過ごすことのできる環境を作りましょう。

夕陽丘高校の生徒としての自覚を持ち、充実した学校生活を送ってください。また色々なことに挑戦し、取り組むことで自分の可能性を広げていきましょう。学年進行に伴い、様々な精度も上げてほしいと思います。

【生徒指導部：自治会】

楽しめ、若者

主任 蔵戸 晋吾

夕陽丘高校は、生徒会ではなく自治会です。夕陽丘高校の教育の四本柱にも、『自ら考え、行動できるように自主自立の心を養う』とあるように、自分たちでクラブ活動や行事を運営し、自分たちで日々の夕陽丘高校生活を充実させる、ということが大切です。

クラブ活動では、夕陽の誇りを胸に日々活動してほしいです。

体育祭では、団長を中心に一致団結して、団の垣根を越えてみんなで一つの最高の体育祭を作り上げてくれるでしょう。

文化祭では、各クラスで協力して、創意工夫あふれる劇や模擬店を期待しています。

高校生活を充実させる上で大きなポイントになるのが、行事の取り組み方です。

残念ながら夕陽丘高校には、そして人生には、『楽しいこと』は一つもありません。しかし、『楽しむことができること』は、無限にあります。お金にもならず、たった一度しかない貴重な高校生活の時間を果てしなく使う自治会活動ですが、いや、だからこそ、それは間違いなく皆さんの人生の財産になります。

友だちと遅くまで残って旗に色を塗ることも、うまくクラスがまとまらず議論することも、応援のために大声を出すことも、大人になるとどれも行うことができない、本当に一生の財産です。

夕陽には、楽しむことがたくさんあります。しかしそれは、全てが、皆さん次第です。

このプリントの前のあなたは、夕陽の時間を、どう使う。

【国際交流委員会】

世界へ羽ばたけ夕陽丘 日本と世界をつなぐ架け橋になろう

委員長 池田 亜優

夕陽丘高校では、グローバル人材の育成を教育方針の4本柱の1つに掲げ、様々な国際交流活動を行っています。

昨年度3月には、多くの希望者の中から選ばれた24名が13日間のニューヨーク語学研修へ行きました。姉妹校クラークスタウン北高校でのホームステイや授業、ニューヨーク市立大学ハンター校との交流、国連国際学校での春祭りブース出展やタレントショー出演、UCLA見学など、おかげさまで多くの経験をすることができました。

今年度は、この3月に語学研修でお世話になったニューヨーク・クラークスタウン北・南高校の20名の生徒が、6月23日(土)～26日(火)4泊ホームステイし、25日(月)26日(火)には学校交流を行います。また、同じく姉妹校の台湾・鳳新高級中学の約50名の音楽班の生徒が、6月27日(水)1泊ホームステイし、28日(木)には学校交流を行います。72期生がこの10月に修学旅行で訪れる予定です。ホストファミリーを募集した際には、多数のご応募を頂きありがとうございました。

留学生については、高1：アメリカからの男子生徒(6月～1カ月間)、フランスからの女子生徒(8月～1年間)、オーストラリアからの男子生徒(12月～1カ月間)、高2：フィンランドからの男子生徒(8月～1年間)の受け入れを予定しています。

生徒の皆さん、夕陽丘高校で色々なことにぜひチャレンジして下さい! 保護者の皆様には、これからも本校の国際交流活動に対するご理解ご支援をお願い致します。

<今後の予定>

- ・アメリカ・ニューヨーク クラークスタウン北・南高校来校(姉妹校)
6月23日(土)～26日(火)4泊ホームステイ、6月25日(月)26日(火)学校交流
- ・台湾・高雄 鳳新高級中学来校(姉妹校)
6月27日(水)1泊ホームステイ、6月28日(木)学校交流
- ・エンパワーメントプログラム<夏休み5日間の英語プログラム>
7月30日(月)～8月3日(金)
エンパワーメントプログラム来日大学生7月29日(日)～8月5日(日)ホームステイ

【音楽科】 今年ウィーン音楽研修の年です!!

科長 片寄 真一

今年度末の3月(平成31年)にウィーン音楽研修旅行が実施されます。1回目の説明会は5月8日(火)に終わりましたが、今からでも興味のある人は音楽科教員まで話を聞きにきてください。『音楽の都』ウィーンに関心のある人、音楽が好きな人は夕陽丘だから行けるこの機会を逃さずに参加してみませんか。

『特別公開講座』

夕陽丘高校の5階ヴィオーラホールでは様々な行事が行われます。音楽科が企画している『特別公開講座』は全校生徒の皆さんはもちろん、保護者の皆さんも鑑賞していただくことができます。校内ポスターやメルマガ等でご案内していきますので気軽に本格的な音楽を楽しみにいらしてください。

『ピッコロコンチェルティスタ』

今回で168回目となる学内演奏会です。今は出演者の殆どが音楽科生徒ですが、この演奏会が始まった当時(昭和37年)は普通科のみの時代です。この伝統ある学内演奏会が発展し音楽科が設立されたとも言えます。普通科の皆さんもピアノを習っている人、吹奏楽で楽器をやっている人、音楽大学への進路を考えている人などは是非とも積極的に出演してほしいです。

まずは聴きに来て、出演したいなと思った人は音楽科の教員に相談してください。今年度のヴィオラホール耐震工事もあるので1月は音楽室で行う予定です。ヴィオラで演奏したい人は文化祭の時(第169回)にエントリーしてください!

5月12日(土) 12:00 (第168回)
9月7・8日(金・土) 文化祭 (第169回)

【進路指導部】

主任 堀田 道子

平成30年度入試結果

国公立大学

	30年	
	現役	浪人
東京芸大	2	0
北海道大	1	0
帯広畜産大	1	0
大阪大	1	1
神戸大	1	0
大阪教育大	13	1
奈良教育大	1	0
和歌山大	1	3
愛媛大	1	0
長崎大	0	1
琉球大	0	1
愛知県立芸大	1	0
京都市立芸大	5	1
大阪市立大	1	0
大阪府立大	3	0
神戸市外大	1	0
福山市立大	0	2
尾道市立大	0	1
合計	33	11

主な私立大 (延べ合格者数)

	30年	
	現役	浪人
同志社大	14	8
立命館大	6	2
関西学院大	42	4
関西大	53	8
近畿大	109	44
関関同立近 計	224	66
龍谷大	32	7
京都産業大	13	1
甲南大	5	0
産甲龍 計	50	8
京都外大	1	0
同志社女子大	34	1
京都女子大	9	0
佛教大	3	0
大阪音大	11	0
桃山学院大	8	0
四天王寺大	2	0
摂南大	47	11
関西外大	10	7
相愛大	1	0
畿央大	37	0
武庫川女子大	16	0
大阪経済大	2	0
神戸学院大	2	0
甲南女子大	12	0
大阪工業大	3	7

昨年度の現役生(70期生)は、国公立大と関関同立近大の延べ合格者数が257でした。浪人生で、現役のときに受験した大学よりも高い偏差値の大学に進学した人もいます。学校のホームページも併せて見てください。

71期生のみなさん、今までこんなに頑張ったことがないというぐらい頑張って、先輩たちの後に続いてください。自分の目標に向かって最後の最後まで努力した人はそれだけの結果を出しますし、努力した過程は自分の自信にもなります。進路指導部は、みなさんを応援しています!

【人権教育推進委員会】

一人一人はかけがえのない存在です

委員長 小西 真里奈

夕陽丘高校では、生徒のみなさんに安心・安全な学校環境を提供するために、教職員一丸となって人権尊重の教育活動に積極的に取り組んでいます。

本校の人権学習の取組については、各学年において、学習課題が設定されています。講演・体験的学習を含め、様々な視点から差別事象や人権問題について学習し考察することができるよう、幅広く人権学習することができるように工夫されています。

今年度の人権教育方針は以下の通りです。

第1学年：様々な障がい者問題について学び、共生社会実現に向けた意識を向上する

第2学年：海外修学旅行を通じ、異文化を理解する

第3学年：「近畿統一用紙」の意義と「働く者の権利」について学ぶ

【平成29年度の取組】

第1学年（72期・現2年）

- ①日常生活と意識に関するアンケート…毎年本校独自に実施しています。
- ②SNS講習会…警察官を講師に招き、SNSの功罪について講演していただきました。
- ③外務省高校講座「異文化コミュニケーション」…修学旅行の事前学習として行いました。
- ④人権講演「夢に向かって」…視覚障がいと盲導犬について講演・演奏していただきました。

第2学年（71期・現3年）

- ①人権講演「あきらめない心」…異文化理解学習として講演していただきました。
- ②修学旅行事前学習として日本・台湾合作映画「KANO」鑑賞会を実施しました。
- ③人権講演「開発支援・難民支援の経験を通して」…国連UNHCR協会から講師を招き、講演していただきました。

第3学年（70期）

- ①「近畿統一用紙」の経過と意義
- ②人権講演会「働く者の権利」…弁護士の方を講師として招き、労働問題・パワハラなどについて講演していただきました。
- ③異文化理解講演「グローバル社会について」…国連職員の方に講演していただきました。
- ④人権HRに関するアンケート（3年間の総括的内容）を実施しました。

上の各学年の取組に加えて、学年や教科の協力を得て「人権アンケート」「人権キャッチコピー」「人権啓発作文」等を実施し、表彰された生徒もいます。

私たちを取り巻く社会には「同和問題・障がい者問題・外国人問題・DV・通信機器上の書き込み・セクハラ・マタハラ等の女性差別・パワハラ・LGBT」など、様々な差別につながる事象が存在しています。これらの事象について知り、学ぶことによって「差別をしない・させない・許さない」を自らのものとし、被害者・支援者となったときに人権救済できる「力」を育んでほしいと願っています。人権啓発活動を通して、差別の現実・実態を知り、学びを通して人権感覚、反差別の知識・意志を持ち、合理的配慮を理解し、実践できる人物になってほしいと願って止みません。

憲法25条に「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。」とあります。残念ながら、社会には上記に触れたような様々な差別があり、その実態を知ることが問題解決のための第一歩となります。知らないことを知る。共に生き、他者と自分との違いを受け入れ、違うから尊いオンリーワンの自分とオンリーワンの他者を認め合う。自らを、他者を、お互いに大切に自尊感情を育んでほしいとの願いを込め、生徒のみなさんが一層、安全で安心な生活を送ることができる学校をめざして取り組んでいきたいと思えます。

発行 〒543-0035 大阪市天王寺区北山町 10-10 大阪府立夕陽丘高等学校

TEL 06-6771-0665 FAX 06-6771-6267 E-mail: z-yuhigaoka@sbox.osaka-c.ed.jp

ホームページ <http://www.osaka-c.ed.jp/yuhigaoka> (題字 森 敏行先生)